科目名 Subject	色彩学 Studies of Color		教員名	栗本　佳典	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	○	△	△	―
科目の概要	美容をはじめ、デザインの現場から普段の生活の場まで、さまざまな状況で必要とされる色彩の役割や考え方について学びます。 色の分類から配色、カラーイメージなどについて学習内容の解説を行った後、実際にカラーチップやポスターカラーを使って演習を行い課題を提出します。				
授業の目標	演習などを通して色彩の基礎をしっかりと学びながら、色に対する認識力や発想力、イメージ力を養うとともに、幅広い色彩感覚を身につけることによって、美容をはじめさまざまな場面で必要となる色彩に対する判断力や表現力を発揮することができるようになる。 また、課題提出時に学生と教員で相互評価を行うことにより、自己を振り返り説明することができるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	月に一回、展覧会などを見に行き、４時間程度かけて作品における色彩の使用法や表現法を探ってください。また、ファッション雑誌を見たりウィンドウショッピングするときなどでも常に色を意識して色彩に対する感覚を磨いてください。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	提出課題の理解度および完成度８０％、授業態度２０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	なし				
本科目履修と関連する資格	資格名	色彩検定（A.F.T）			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	色を感じる仕組みや色と人間とのかかわりを理解できる。	
第２回	光と三原色	色料の三原色や光の三原色など、色を再現する仕組みを理解できる。	
第３回	補色と配色	美容のさまざまな場面で登場する補色について理解し使うことができる。	色鉛筆使用
第４回	色名	色名の成立について理解を深めるとともに、オリジナルの色名を考え発想力を高める。	ポスターカラー使用
第５回	三属性とカラーシステム	正確に色を分類するための基準を知り、微妙な色の違いを見分けることができる。	PCCSチャート使用
第６回	色彩のトーンとイメージ	明度、彩度から生まれるトーン分類の方法を理解し、イメージとの関係を考えることができる。	TONEチャート使用
第７回	トーン表示とカラーカード	トーンによる表示法とカラーカードの構成が理解できる。	カラーカード使用
第８回	配色法①	配色の基本的な考え方を理解し実践することができる。	カラーカード使用
第９回	配色法②	配色の効果や調和を利用できる。	カラーカード使用
第１０回	カラーウォッチングおよび色彩再現	さまざまな物の色を観察し作ることで、色作成の力を高めることができる。	ポスターカラー使用
第１１回	対比、同化と色彩心理	色と視覚との関係を知る。また、色が人の心理に与える影響を理解し応用することができる。。	色鉛筆使用
第１２回	イメージワードと色彩	イメージ作りに必要となる、色の表現力を身につけ実践することができる。	色鉛筆使用
第１３回	パーソナルカラー	ベースカラーおよびパーソナルカラーの基本的な考え方を理解できる。	カラーカード使用
第１４回	年齢による色認識と日本の色彩文化	年齢と色認識との関係、および日本文化における色の特徴を理解し身につけることができる。	カラーカード使用
第１５回	色彩表現と色彩構成	色彩表現課題と色彩構成を作成し表現力を高めるとともに自己の作品を解説することができる。。	色鉛筆使用